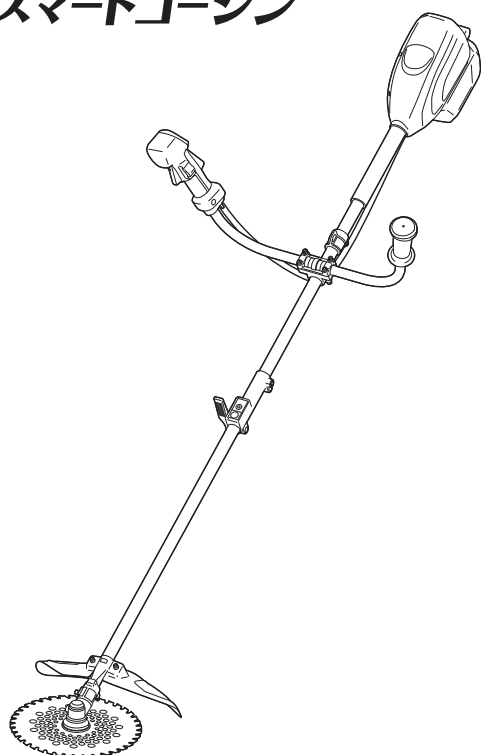


共通バッテリーシリーズ

PREMIUM

スマートコーシン



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございました。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよく読んで正しく安全にご使用ください。
- お読みになった後も保管してください。
- 本機を他人に貸す場合は、取り扱い方法をよく説明し、取扱説明書をよく読むように指導してください。

改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

仕様変更などにより、本機のイラストや内容が一部実機と異なる場合がありますがご了承ください。

乱丁、落丁はお取り換えします。

製品アンケートご協力をお願い

より良い商品開発の参考にさせていただきますので、アンケートへのご協力をお願いいたします。



・アンケートの実施については予告なく変更・削除されることがあります。
・通信料金はお客様のご負担となります。

KOSHIN

PBC-400R

40V Li-ion

充電式草刈機

取扱説明書（保証書付）

用途

雑草の草刈り

用途以外の目的に使用しないでください

目次

はじめに

各部の名称と付属品.....	2
安全上のご注意.....	4

準備

バッテリーと充電器.....	13
組み立て	17
スイッチの操作方法	24
運搬.....	26

使用方法

作業前点検	27
草を刈る	28

保守・点検

お手入れと保管	31
「故障かな？」と思ったら（故障と処置）	32

その他

仕様.....	34
パーツのご注文は	35
保証書	36

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

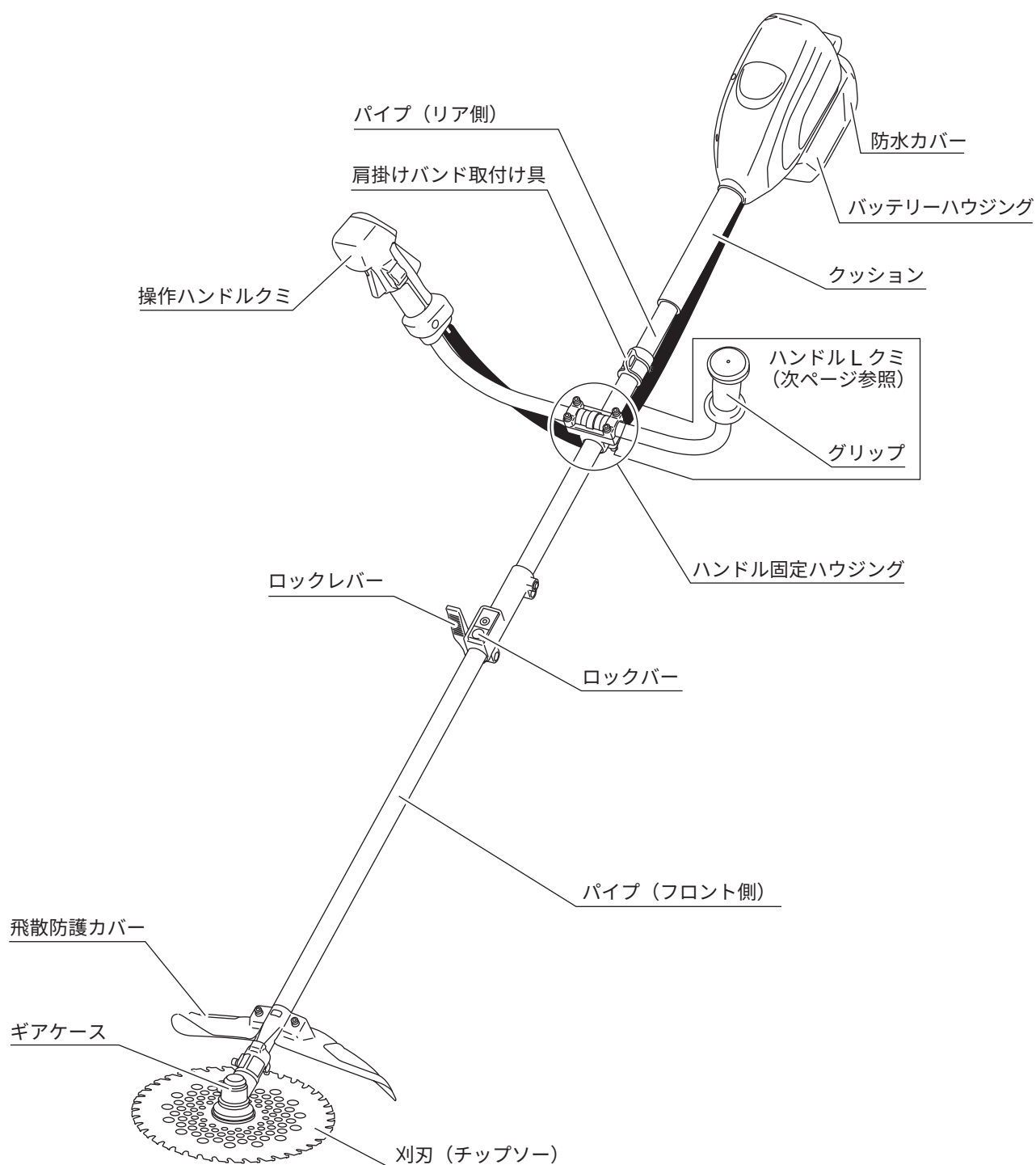
その他

株式会社 **工進**

26-06 056213204

各部の名称と付属品

1. 各部の名称



警告

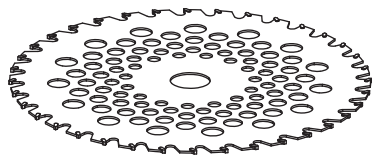


純正品以外のオプション品、交換用パーツなどは使用しない
刈刃が外れるなどしてケガをしたり、製品が故障する原因となります。
※純正品の交換用刈刃…35 ページ「3. 主なパーツ」参照

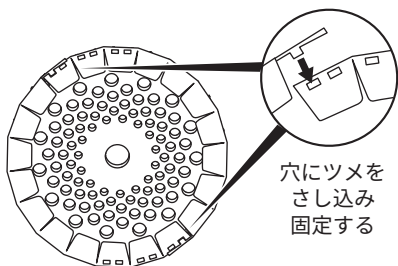
各部の名称と付属品

2. 付属品

同梱されている付属品がすべてそろっているか確認してください。

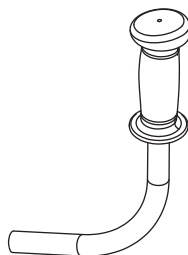


□ 刈刃（チップソー）

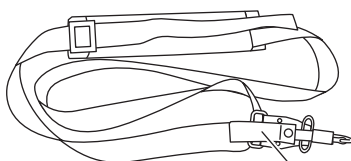


穴にツメを
さし込み
固定する

□ 刈刃カバー



□ ハンドルレクミ



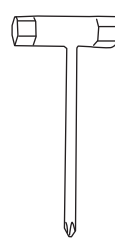
□ 肩掛けバンド 離脱ベルト



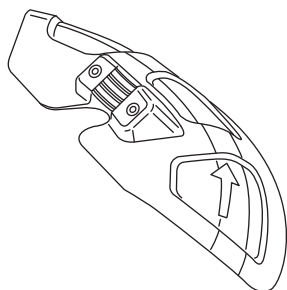
□ 保護メガネ



□ 結束バンド



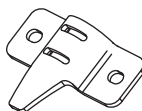
□ ボックスレンチ



□ 飛散防護カバー



□ 飛散防護カバー取付け用
六角穴付ボルト（M5×18 2本）



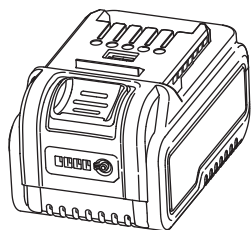
□ 取付金具



□ 六角レンチ

□ 取扱説明書（本誌）

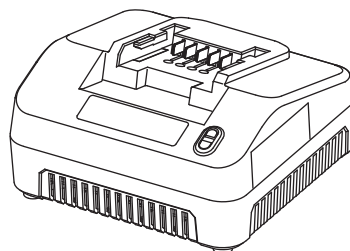
開梱時、ボルトと取り付け金具は飛散防護カバーに仮止めしてあります。



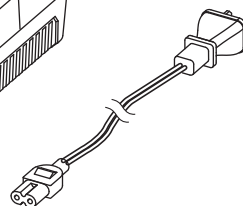
□ 40V バッテリー（4.0 Ah）
〈KLB-4040〉



□ 40V バッテリー用
バッテリーカバー



□ 40V 充電器
〈KBC-400〉



□ 充電器用
電源コード

40V バッテリー（4.0 Ah）と 40V 充電器は付属していない機種もあります。

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

安全上のご注意

使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方や他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。

■ 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を「危険」「警告」「注意」に区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 危険	人が死亡、または重傷を負うおそれの高い内容です。
 警告	人が死亡、または重傷を負うおそれのある内容です。
 注意	人が傷害を負う、および本機やほかの財産に物的損害が発生するおそれのある内容です。

■ お守りいただく内容を区分して説明しています。

 してはいけない「禁止」の内容です。	 必ず守っていただく「実行」の内容です。
---	---

■ その他の表示

 ここがポイント！ 正しい操作のしかたや守っていただく要点などを示しています。

■ 本機に関すること

 危険  次のときは本機を使用しない • 疲れているとき、身体が不調のとき • 酒類や薬を飲んで正常な運転操作ができないとき • 夜間や悪天候などで視界が悪いとき  作業前に半径15m以内に他の人や動物がいないことを確認する 高所作業のときは、下に他の人や動物がいないことを確認する  刈刃と飛散防護カバーは純正品、指定部品を使い、指定の位置に取り付ける 小石の飛散など、ケガの原因になります。 また、モーターの焼きつきなどの故障の原因になります。	 作業中は半径15m以内に他の人や動物を近づけない 2人以上の作業時はお互いに15m以上の間隔を取り、監督者は半径15m以内に人や動物などが近づいた場合に直ちに本機を停止し作業を中止するように注意する 本機を使用している人に近づくときは、使用者から15m以上離れた位置で合図し、本機の停止を確認する  部品類は必ず取扱説明書に従って純正品、指定部品を指定の位置に確実に取り付ける  運搬の際は、強い衝撃を与えない、水にぬらさない、炎天下の車中など高温になる所、火気のそば、直射日光の当たる所に長時間放置しない バッテリーの劣化や漏液が起こる原因になります。
--	--

⚠ 危険

- ❗ 離脱の際は、スイッチレバーから手を離し、本機および周囲に注意する
刈刃が高速回転したままで離脱すると、コントロールを失い、作業者自身または第三者が死亡あるいは重傷を負う可能性があります。
- ⊘ 片手で作業をしない
- ⊘ 飛散防護カバーを外した状態で使用しない
小石が飛散するなど事故やケガのおそれがあります。
- ⊘ 爆発物や可燃性の液体、ガス、粉じんのある所で使用しない
本機から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
- ⊘ 刈刃を樹木やブロックなどに当てない
キックバック（跳ね返り）が起こりケガをするおそれがあります。

⚠ 警告

- ⊘ 妊娠しているときは本機を使用しない
- ❗ 作業場は明るく、また整理整頓する
作業場が暗く、また散らかっていると事故の原因になります。
- ❗ スイッチに異常がないか点検する
スイッチで始動および停止操作のできない場合は、使用せず修理をご依頼ください。そのまま使用すると、事故の原因になります。また、本機の寿命を縮めます。
- ⊘ バッテリーを取り付ける際は、電源スイッチに手を触れない
電源が入った状態でバッテリーを取り付けると、不意の始動により事故の原因になります。
- ❗ バッテリーを取り付ける前に、工具などは必ず取り外す
本機を始動したときに取り付けた工具などが回転して、ケガの原因になります。
- ⊘ 枝打ち作業・壁や岩などに生えている草刈り作業などには使用しない
- ⊘ 刈刃にひび割れ、欠け、変形、摩耗などの異常がないことを確認し、異常があるものは使用しない
異常があると刈刃が破損し、ケガの原因になります。
- ❗ 刈刃の取り付けは、刈刃の取付穴を刃受金具の凸部に確実にはめ込む
正しく取り付けしていないと異常振動し、事故の原因になります。
- ❗ 刈刃の固定ナット、刈刃固定板は消耗品のため、摩耗や変形があれば交換する
- ❗ 刈刃の取り付け、取り外しには、必ず付属のボックスレンチを使用する
付属工具以外で締め付けた場合、締め過ぎや締め付け不足となり、事故の原因になります。

警告

-  刈刃は刃物軸最高回転数が本機の回転数よりも高い許容回転数のものを使用する
刈刃の許容回転数が低いと刈刃が破損し、事故の原因になります。
-  必ずスイッチレバーから手を放して刈刃の回転が停止したことを確認してから、バッテリーを取り外す
-  刈刃を取り扱う際や点検時は、必ず保護手袋を着用する
ケガの原因になります。
-  刃受金具を正しく取り付ける
刃受金具を取り付けしなかったり向きを間違えたりすると、刈刃が外れ、ケガをするおそれがあります。
-  ロック解除ボタンを押した状態で固定しない
-  付属品を正しく確実に取り付けてから作業を行う
-  本機の組み立てや付属品を取り付ける、または取り外すときは、必ず電源を切り、本機からバッテリーを取り外す
バッテリーを取り付けたまま行くと事故の原因になります。
-  飛散防護カバーを所定の位置に確実に取り付けてから使用する
正しく取り付けないで使用すると、飛散物を防護できないまたは効果が下がり、ケガの原因になります。
-  ロック解除レバー、スイッチレバーに指をかけて運ばない
-  運搬の際は、ボルト、針金、金属工具などがバッテリーおよび本機、充電器に触れないようにする
バッテリーがショートし、発熱、破裂、発火のおそれがあります。

-  本機を車に積んだまま長時間悪路を走行しない
本機の破損や事故の原因になります。
-  本機を立てて（または、立て掛けて）運搬しない
本機が転倒し、思わぬ事故の原因となります。
-  離脱の際は、手で本機のパイプを持ちながら離脱ベルトを引く
本機を支えないで離脱ベルトを引くと本機が足の上に落ち危険です。
-  危険を感じたときは直ちにモーターを停止し、肩掛けバンドを離脱し本機を身体から離す
-  作業時は肩掛けバンドを必ず着用し、本機を正しく保持する
-  作業時以外は肩掛けバンドを本機から外す
バランスをくずして、ケガをするおそれがあります。
-  本機、付属品や工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて使用する
指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
-  作業中は、本機を両手で確実に保持する
ハンドル部は常に乾いた状態にし、手が滑らないようにする
確実に保持していないと、ケガの原因になります。
-  正しく持ち、周囲を確認し、刈刃から手や足が離れていることを確認してからスイッチレバーを握る
刈刃は高速で回転するため、危険です。ケガや事故の原因になります。
-  本機は体の右側に、両手でハンドルを保持する
-  刈刃カバーを取り付けた状態で本機を運転しない

警告

 雨上がりなど足元が滑りやすい所、傾斜地、ハシゴや木に登るなどの不安定な所では使用しない
無理な体勢で作業しない
ケガの原因になります。

 作業中および運転を停止した直後は刃に手足や顔などを近づけない
刈刃はすぐに止まらないので、ケガのおそれがあります。

 刈刃で打つ、たたくなどの方法で草刈り作業をしない
キックバック（跳ね返り）や刈刃が破損し、事故の原因になります。

 本機が動かない、発熱や発煙、また音や振動など異常を感じたときは、直ちに使用を中止する
思わぬケガや事故の原因となります。
電源を切りバッテリーを取り外して、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

 本機に幼児・子ども、動物が触れないよう、隔離措置をして安全な所で使用する

 腰より高い位置での作業はしない

 本機的能力に合った負荷（切断対象、運転時間など）で作業する
無理な作業は事故の原因になります。また、作業能率が悪くなります。

 作業中に刈刃が石などの障害物に当たったときは、すぐに本機を停止させ異常がないか調べる
そのまま使用すると事故の原因になります。

 キックバック（跳ね返り）防止のため、刈刃を右から左に操作して草刈り作業を行う
キックバック（跳ね返り）が起こると、本機が思わぬ方向に動き、ケガや事故の原因になります。

 近くにいる人に本機が接触しないように注意する
ケガや事故の原因になります。

 作業を始める前に刈刃からカバーを取り外す

 保管およびお手入れのときは必ずスイッチを切り、本機からバッテリーを取り外す
取り外したバッテリーに水がかからないようにする
バッテリーを本機に取り付けたまま行くと、事故の原因になります。

 本機を使用しないときは、屋内に安全に保管する
本機からバッテリーを取り外し刈刃カバーを取り付けて、子どもの手の届かない所、雨がかからずぬれていない湿気の少ない所、鍵のかかる所に保管してください。
(31 ページ「3. 保管」参照)

 作業前点検を行う
点検が不十分だと、事故の原因になります。
(27 ページ「1. 作業前点検」参照)

 点検・整備の際は、必ず保護手袋を着用する

 点検・整備の際は必ずスイッチを切り、本機からバッテリーを取り外す
本機が誤始動し、事故やケガの原因になります。

 本誌記載内容以外の分解、修理、改造をしない
異常動作してケガをする、また本機や接続機器が故障する原因になります。

注意

-  作業前にネジのゆるみや欠落した部品、破損などがないか確認し、異常がある場合は使用を中止する
不完全な状態の本機を使用するとケガの原因になります。購入店もしくは本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。
-  ぶつけたり落としたりしたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことを点検する
破損や亀裂、変形があると、ケガの原因になります。
-  バッテリー取り付け後は必ず防水カバーを付ける
バッテリーが水にぬれると故障の原因になります。
-  万一の事故に備えて、必ず救急箱を作業場近くに備え付ける
救急箱から持ち出したものは、直ちに交換品を補充してください。
-  極端な高温や低温の環境下では使用しない
十分な性能を得ることができません。
-  本機に過度の衝撃を加えない
-  休憩時や使用後、運搬、保管時は必ず刈刃カバーを取り付ける
-  無理な体勢で作業をしない
足元を安定させ、バランスを保つようにしてください。
-  雑草や刈った草のくずなどで通気口をふさがない
モーターの故障の原因になります。
-  定期的に休息をとる
本機は機能上、使用時に振動が発生します。このため、長時間の連続使用は体に負担をかけることがあります。また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じる場合があります。

-  作業に合った刈刃の回転数で使用する
回転数が低すぎると雑草が絡みつくことがあります。
回転数が高すぎると運転時間が短くなるだけでなく、本機の寿命を縮める原因にもなります。
-  刈刃が地面や樹木、その他の障害物に触れていないことを確認してからスイッチレバーを握る
本機はスイッチレバーを握ると同時に刈刃が回転します。
-  作業後は必ず電源を切り、バッテリーを取り外す
-  屋外に長時間放置しない
-  使用後は刈刃カバーを必ず取り付ける
ケガの原因になります。

■ バッテリー・充電器に関すること

危険

-  バッテリーを直射日光の当たる場所、炎天下の車内、熱源のそばなど高温になる場所で使用または放置しない
火の中に投入しない、加熱しない、強い衝撃を与えない
発熱、破裂、発火、漏液するおそれがあります。また、バッテリーの性能や劣化につながるおそれがあります。
-  バッテリーは、本機および弊社指定の機器のみに使用する
弊社指定の機器以外に使用すると、バッテリーに異常な電流が流れるなどの可能性があります。発熱、破裂、発火の原因になります。
-  充電は、弊社指定の充電条件を守る
充電は使用環境温度範囲（34 ページ「1. 主な仕様」参照）で行ってください。その他の充電条件（指定以外の温度、指定以外の高い電圧や大きな電流、または改造した充電器など）で充電すると、発熱、破裂、発火の原因になります。
-  分解、改造、破壊しない
漏液、破裂、発火のおそれがあります。
-  めらさない
ぬれた手で触らない
発火や感電、故障のおそれがあります。
-  充電器や機器への取り付けがうまくいかない場合は無理に取り付けけない
-  電源プラグに合わないコンセントやさし込みのゆるいコンセントは使用しない
また、電源プラグを改造しない
火災や感電の原因になります。

警告

-  バッテリーが漏液したり異臭がしたりする時は直ちに火気より遠ざける
漏液した電解液に引火し、破裂、発火の原因になります。
-  充電時や使用時、保管時にバッテリーからの異臭、発熱、変色、変形、その他、今までと異なることに気づいたときは、本機あるいは充電器からバッテリーを取り外し使用しない
発熱、破裂、発火し、感電、ヤケドの原因になります。
-  コードを持って充電器を運ばない
コードを引っ張らない、傷つけない、無理に曲げない
コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけない
コードの上に物を載せない
コードの破損やショートにより、発煙、発熱、発火し、感電、ヤケドの原因になります。
-  充電器は、弊社指定のバッテリーのみに使用する
他のバッテリーの充電や充電以外の用途には使用しないでください。充電器や接続されたものが発煙、発熱、発火し、感電、ヤケドのおそれがあります。
-  バッテリーは、所定の充電時間以上充電しない
充電が所定の時間を超えても完了しない場合は、充電をやめる
バッテリーが発熱、破裂、発火するおそれがあります。
-  保管時バッテリーは必ず取り外す
思わぬ事故の原因となります。
-  バッテリーはカチッと音がするまでさし込み、本機に確実に取り付ける
取り付けが不十分な場合、外れて事故の原因になります。

警告

 本機の組み立てや付属品の取り付けや取り外し、作業後および点検、保管時は、必ず電源スイッチを切り、本機からバッテリーを取り外す
バッテリーを取り付けたまま行くと本機が不意に作動し、事故の原因になります。

 電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く
トラッキング※が発生して発火の原因になります。
※トラッキング…コンセントとプラグの隙間にほこりが溜まり、そのほこりが空気中の湿気を吸収することで、漏電し発火する現象のこと。

 コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない
発火のおそれがあります。

 電源プラグは根元まで確実にさし込む
感電や発火の原因になります。

 バッテリーと充電器の接続部、充電端子部や内部、電源プラグに金属製の工具やピンをさし込まない
電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く
ショートやトラッキングにより発煙、発熱、破裂、発火し、感電、ヤケドの原因になります。

 バッテリーや充電器を電子レンジや高圧容器に入れない
急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火の原因になります。

 バッテリー液が目に入ったときは、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗った後、医師の治療を受ける
放置すると、目に障害を与える原因になります。

 電源プラグを抜くときは、コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く
コードがショートし、発火や感電の原因になります。

 電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、製造業者若しくはその代理店又は同等の有資格者によって行わなければならない
感電や火災のおそれがあります。

 身体能力・感覚機能・判断力が十分でない方、または操作に慣れていない方が使用する場合は、安全に関する監督や指導を受け、その危険性を理解したうえで使用する

 子どもが本機で遊ぶことがないように注意する

注意

-  付属の充電器の電源コードは付属の充電器専用です
-  充電時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による漏電、発火、感電の原因になります。
-  バッテリーの上に可燃物を載せない
バッテリーを覆わない
バッテリーが発熱、破裂、発火するおそれがあります。
-  バッテリー液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流す
皮膚がかぶれるなどのおそれがあります。
-  充電器およびバッテリーの端子部分に手を触れない
感電のおそれがあります。また、充電器およびバッテリーが静電気により破損する可能性があります。
-  充電器の上に物を載せない
落下しやすいところに置かない
外部の力や衝撃で充電器の内部回路が破損して、使用時に発煙、発熱、発火し、感電、ヤケドの原因になります。

安全上のご注意

■ 防水性能について

本機は、防水保護等級IPX4です。

IPX4表示はIEC国際規格により規定される電気機器への水の侵入に対する保護等級を表します。

保護等級の分類はつぎの通りです。

IPX 4

有害な影響を伴う水の侵入に対する保護等級（防水）

保護等級	内容
0	保護されていない
1	垂直に落ちてくる水滴から保護されている
2	垂直より左右15°以内の降雨（3～5mm/min）に対して保護されている
3	垂直より左右60°以内の降雨（10L/min）に対して保護されている
4	あらゆる方向からの水の飛沫（10L/min）に対して保護されている
5	あらゆる方向からの噴流水（12.5L/min）に対して保護されている
6	あらゆる方向からの暴噴水（100L/min）に対して保護されている
7	水に浸しても影響がないように保護されている
8	潜水状態での使用に対して保護されている

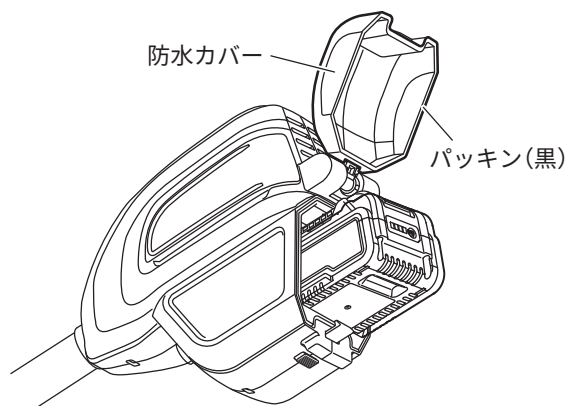


ここがポイント！

- 本機は、バッテリーを装着し防水カバーを閉じた状態で、防水保護機能を発揮します。バッテリー単体には防水機能がないため、水にぬれるなどすると故障するおそれがあります。必ず防水カバーを閉めてご使用ください。（15 ページ「2.1 取り付け」参照）
- 本製品は水による影響を受けにくく設計されていますが、故障しないことを保証するものではありません。
- 水にぬれたときはできるだけ早く乾いた布でふき取ってください。水にぬれたまま放置すると、さびなどにより破損・変色、およびショート（短絡）して発熱・出火・火災の原因となるおそれがあります。

■ 防水カバーについて

防水カバーやパッキンに強い衝撃を与えないでください。破損すると水などが入りやすくなり、防水機能が低下します。防水カバーを開くときや、本機を分割・移動・運搬するときは特にご注意ください。



バッテリーと充電器

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

1. 充電について

お買い上げ時や長期間充電しなかった場合は、ご使用前に満充電になるまで正しく充電してください。バッテリーがすでに満充電のときは、充電器のランプは赤点灯（充電中）にならず緑点灯（満充電）のままです。（14 ページ「充電器のランプの見かた」参照）



ここがポイント！

- バッテリーの温度が適切でないと充電ができないことがあります。バッテリーが高温の場合は、風通しの良い日陰などに置いていったん冷ましてください。
- 充電中にバッテリーや充電器が温かくなりますが、異常ではありません。

1.1 バッテリーを長持ちさせるには

- 本機の力が弱くなってきたと感じたら使用を中止し、充電してください。
- 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- 充電は使用環境温度5 ～ 40℃の範囲で行ってください。
- バッテリーの保管場所にご注意ください。（31 ページ「3. 保管」参照）
- 長期間ご使用にならない場合、バッテリーは充電してから保管してください。



バッテリーの寿命について

- バッテリーは充放電を繰り返すと次第に容量が少なくなり、交換が必要になります。これはバッテリーの特性によるものであり、故障ではありません。満充電後も作業できる時間が短くなるようであれば、バッテリーを交換してください。
- リチウムイオンバッテリーは、メモリー効果（継ぎ足し充電を繰り返すと、バッテリー残量が見かけ上、低下する現象）がないため、タイミングを気にすることなく、いつでも継ぎ足し充電ができます。
- 寒い環境ではバッテリーの容量が少なくなり、作業時間が短くなる場合があります。暖かくなる（バッテリーが適温になる）と回復します。
- バッテリーは使用しなくても自然に放電します。自然に放電した分は、使用前に充電すれば回復します。

1.2 バッテリーの回収について

バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。バッテリーのリサイクルにご協力ください。

ご使用済みのバッテリーは「充電式電池リサイクルボックス」のあるリサイクル協力店にお持ちいただくか、お住まいの自治体によるバッテリー回収にお出してください。または弊社「お客様相談窓口」へご相談ください。



Li-ion

リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ



ここがポイント！

- バッテリーの残量がゼロになるよう、機器で使い切ってから回収に出すこと。
- 分解、改造をしないこと。
- バッテリーカバーを付け、水や異物の侵入を防ぐこと。

1.3 その他の注意事項

- バッテリーからの異臭や液漏れがないか定期的に確認してください。
- 充電に延長コードを使用するときは、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

〈使用できる延長コードの目安〉

太さ（導体公称断面積）…2.0 mm²
長さ…30 m まで

- バッテリー端子部分が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてからご使用ください。機器との接触が悪いと、電源が切れたり充電されなくなったりすることがあります。

バッテリーと充電器

1.4 充電のしかた

1) バッテリーカバーを外す

2) 電源コードのコネクターを充電器にさし込む

3) 電源コードのプラグをコンセントにさし込む

充電器のランプが緑点灯します。

4) バッテリーを充電器にさし込む

右表のように充電器およびバッテリーのランプが光り、状態をお知らせします。

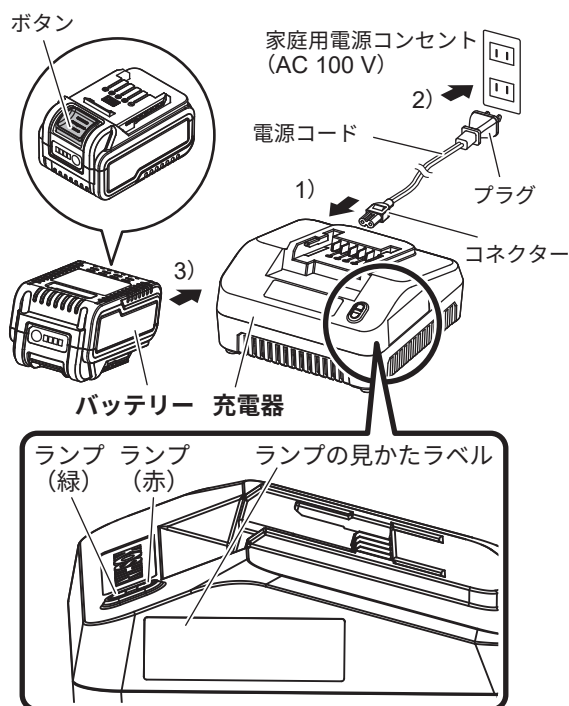
ランプの表示が切り替わる際に、揺らぎや数秒～数十秒程度のタイムラグが生じることがありますが、異常ではありません。

ランプが光らないまたは表以外の光り方をするときは、故障の可能性があります。本紙裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

5) 充電が完了したら、バッテリーを充電器から取り外す

バッテリーのボタンを押しながら引き抜き、バッテリーカバーを付けてください。

6) 電源コードのプラグをコンセントから抜く

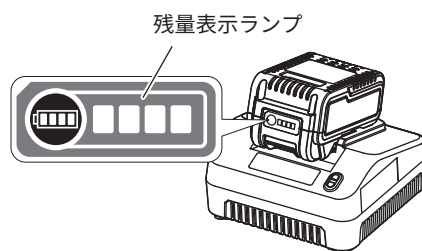


■ 充電器のランプの見かた

充電器のランプ		状態	
□ / ◐ 点灯 ● / ◑ 消灯 ⦿ 点滅 ⦿ ゆっくり点滅			
緑	赤		
□	●		充電前 ^{注1)} 、充電完了
⦿	◐		実用充電完了
●	◐	充電中 ^{注1)}	
⦿	●	温度待機 ^{注2)}	
●	⦿	充電器異常 ^{注3)}	

■ 充電中のバッテリーの残量表示ランプの見かた

残量表示ランプ		状態
□ 点灯 ■ 消灯 点滅		
■ ■ ■ 点滅 点滅 □ □ □	点滅、点灯、 消灯の 組み合わせ	充電中
□ □ □ □	充電完了後 10秒点灯し、 その後消灯	充電完了
点滅 □ 点滅 ■	交互点滅	異常 ^{注3)}



注1) 充電器のランプが緑点灯から赤点灯に変わらないときは、すでに満充電の可能性があります。次ページを参考に、バッテリーの残量確認ボタンを押しバッテリー残量を確認してください。

注2) バッテリーを風通しの良い日陰などに置き冷ましてください。

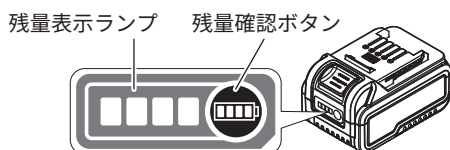
注3) バッテリーと電源コードを充電器から一旦抜き、端子部分にゴミなど異物がはさまっていないか確認してください。

バッテリーと充電器

■ 残量確認ボタンを押したときのバッテリーの残量表示ランプの見かた

バッテリーの残量確認ボタンを押すと、バッテリー残量に応じてランプが点灯、点滅します。

残量表示ランプ		状態
□ 点灯 ■ 消灯 点滅		
	1～4個点灯	使用可能
	1個点滅	充電してください
	同時点滅	バッテリーの温度異常 ^{注1)}
	交互点滅	バッテリー残量低下および異常など ^{注2)}
	消灯	バッテリー残量低下または使用不能 ^{注2)}



注1) バッテリーが高温（暑い自動車内に保管したときなど）の場合、残量があっても動作しないことがあります。風通しの良い日陰などに置いてバッテリーを冷ましてください。

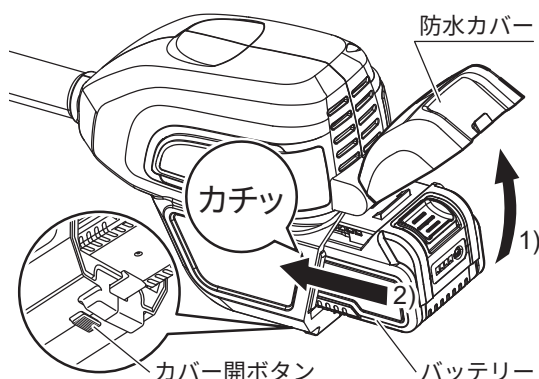
注2) 充電が進まない場合はお問い合わせください。

ランプが光らないまたは表以外の光り方をするときは、故障の可能性があります。本紙裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

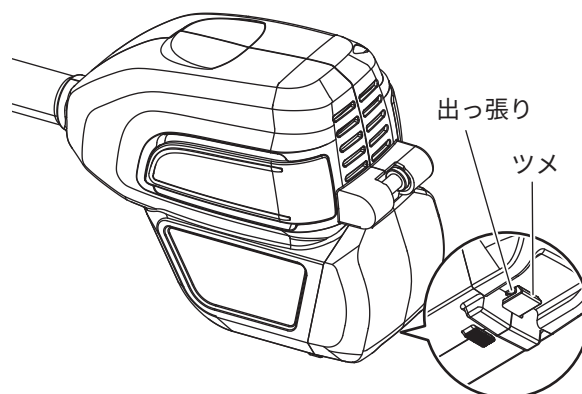
2. バッテリーを草刈機で使用する

2.1 取り付け

- 1) 本機を図の向きにして、カバー開ボタンを押して防水カバーを開く
- 2) バッテリーカバーを外し、バッテリーを本機の溝に合わせて「カチッ」と音がするまでさし込む



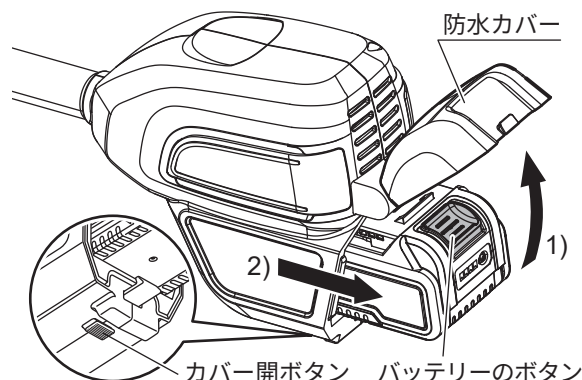
- 3) 軽く引いてバッテリーが抜けないことを確認し、ツメが防水カバーの出っ張りにかかるまでしっかり閉じる



バッテリーカバーは保管してください。

2.2 取り外し

- 1) 本機を図の向きにして、カバー開ボタンを押して防水カバーを開く
- 2) バッテリーのボタンを押しながら引き抜き、バッテリーカバーを付ける



- 3) ツメが防水カバーの出っ張りにかかるまでしっかり閉じる

はじめに

準備

使用方法

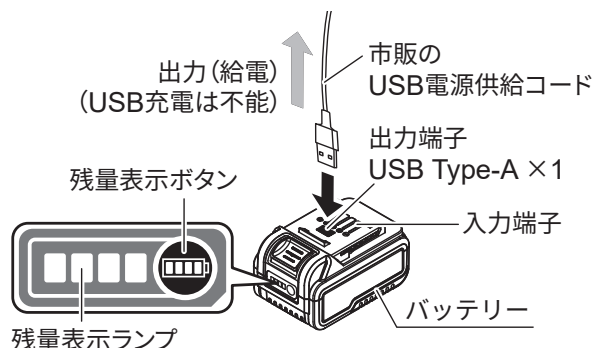
保守・点検

その他

バッテリーと充電器

3. バッテリーからUSB出力する

バッテリーにはUSB出力端子があります。市販のUSB電源供給コードを使用して、電気機器への出力（給電）を行うことができます。USB出力端子はこの用途以外には使用しないでください。



3.1 使いかた

- 1) バッテリーカバーを外す
- 2) 残量確認ボタンを長押し（2秒以上）し、USB出力モードに切り替える
残量表示ランプの光が左から右へ流れ、切り替わったことをお知らせします。
- 3) 市販のUSB電源供給コードを本バッテリーの出力端子にさし込む
USB出力モードに切り替える前にさし込んでも、出力（給電）を行いません。
- 4) USB電源供給コードの反対側プラグを使用する電気機器にさし込む
- 5) 使用後はUSB電源供給コードを外し、バッテリーカバーを付ける

⚠ 危険

- ❌ 水、汗などで濡れた手でUSB電源供給コードの抜き差しをしない
- ❌ コネクタの端子部分を手で触らない
- ❌ USB電源供給コードの被膜が破れ中の金属線が露出しているときは使用しない。また、子どもやペットを近づけない

感電のおそれがあります。

⚠ 危険

- ❌ 端子にヘアピンなど針金類や、ゴミをさし込まない
- ❌ 水や汗が入らないようにする
- ❌ 雨中では使用しない

感電のおそれがあります。

また、ショート（短絡）して出火・ヤケドしたり、火災になるおそれがあります。

⚠ 警告

- ❌ USB電源供給コードのプラグが折れ曲がるなど変形しているとき、またはコード部分が断線しているときは製品を使用しない
- ショート（短絡）して出火・ヤケドする、または火災のおそれがあります。

- ❌ 端子にほこりを貯めない
- ❌ ほこりに水分を与えたり湿度の高いところに置いたりしない
- ❌ 使用しないときはUSB電源供給コードを外してバッテリーカバーを付ける

ほこりに水分が加わると電気が少しずつもれ、じわじわと製品の劣化が進みます（トラッキング現象）。また、火花があたりヤケドの可能性があります。

トラッキング現象が進むと、発熱や火花が大きくなり火災のおそれがあります。



ここがポイント！

- 本バッテリーの出力端子と、パソコンなどのUSB出力端子をつながないでください。思わぬ事故により故障の可能性があります。
- 本機の故障や使用によるデータの変化や消失などの直接損害、二次的な損害（データ作成費用、期待利益の損失など）に関して、当社は一切その責任を負いません。
- 全ての機器での動作を保証するものではありません。
- 出力（給電）がない状態が約5分続くとUSB出力モードが解除されます。また、出力（給電）があっても電気機器の要求が低電流の場合、「出力（給電）がない」とみなされ同様に解除される場合があります。
- USB出力モードは、バッテリーを草刈機または充電器に取り付けることでも解除されます。

組み立て

作業前に必ず4 ページ「安全上のご注意」をお読みください。



ここがポイント！

- 作業前に本機からバッテリーを取り外してください。
- 保護手袋を着用してください。
- 付属品をしっかりと取り付けてから作業をしてください。

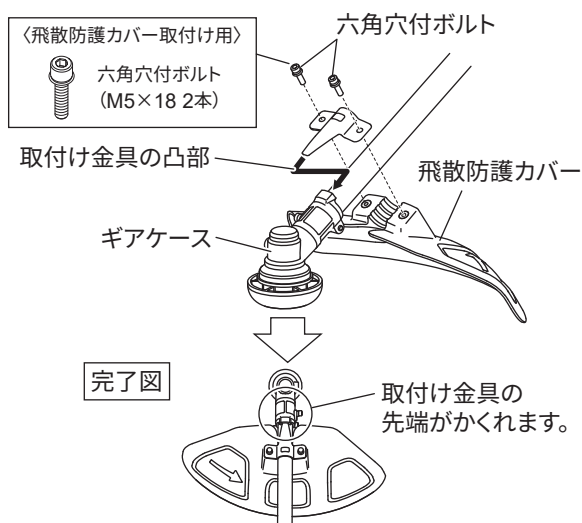
1. 飛散防護カバーの取り付け

- 1) 飛散防護カバーと取付け金具を下図のように六角穴付ボルト（2本）で仮止めする
開梱時、ボルトと取付け金具は飛散防護カバーに仮止めしてあります。

取付け金具がギアケースに乗り上げないようにパイプとのすき間に奥までさし込むようにしてください。

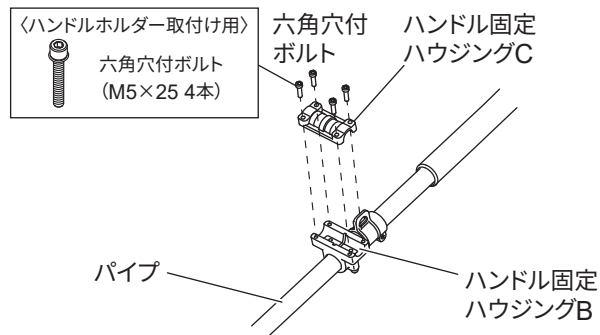
- 2) 仮止めした六角穴付ボルト（2本）をしっかりと締め付ける

2本とも均等に締め付けてください。



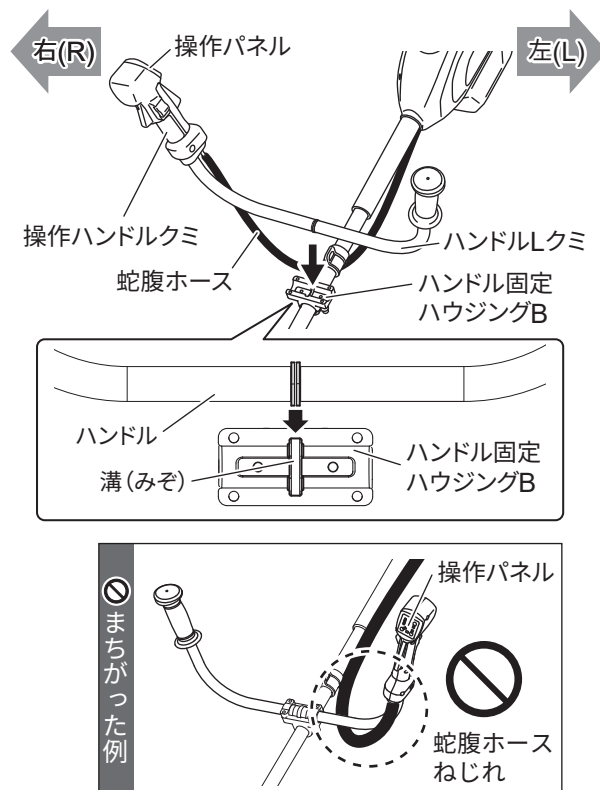
2. ハンドルの取り付け

- 1) 本機に仮止めされている六角穴付ボルト（4本）とハンドル固定ハウジングCを外す



- 2) 操作ハンドルクミとハンドルLクミを、ハンドル固定ハウジングBにのせる

図を参考に、操作パネルが右側に来てかつ作業者の方を向くよう、ハンドルの位置や向きを間違えないでください。また、蛇腹ホースがねじれないようにしてください。



はじめに

準備

使用方法

保守・点検

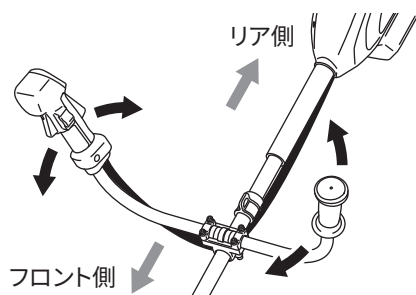
その他

組み立て

3) ハンドル固定ハウジングCを六角穴付ボルト（4本）で仮止めする

4) ハンドルを使いやすい角度に調整し、六角穴付ボルト（4本）をしっかりと締め付ける

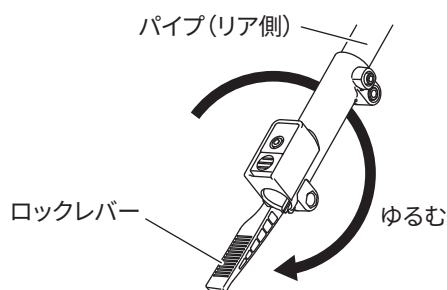
使用中にハンドルの角度が変わったり外れたりしないよう、ボルトは4本を均等にしっかりと締付けてください。



3. パイプの取り付けと取り外し

3.1 取り付け

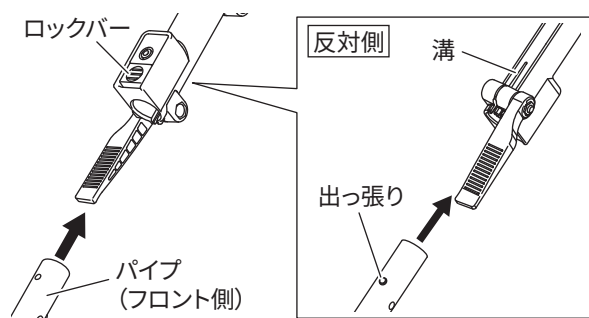
1) パイプ（リア側）のロックレバーを図の矢印の方向に止まるまで回転させ、ゆるめる



2) パイプ（フロント側）をさし込む

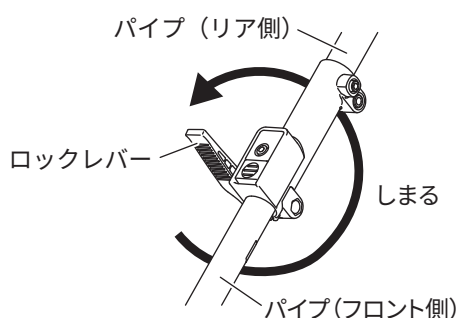
ロックバーの反対側にある溝と出っ張りを合わせて、パイプをロックバーがカチッとハマるまでさし込んで下さい。

ロックバーがハマらない場合はパイプの出っ張りを溝の中で回転方向に小さく揺らすと、ドライブシャフトのギアがかみ合いしっかりパイプをさし込めます。

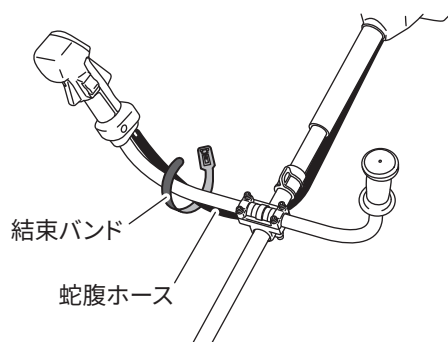


組み立て

- 3) パイプ（リア側）のロックレバーを図の矢印の方向に止まるまで回転させ締め付ける

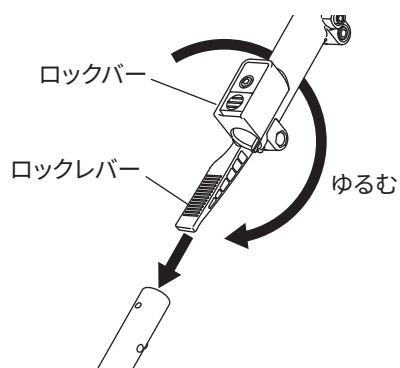


- 4) 蛇腹ホースを図の部分に結束バンドで固定する



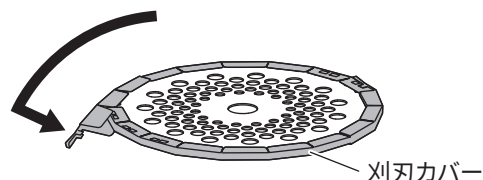
3.2 取り外し

- 1) パイプを取り外すときは、ロックレバーをゆるめたあと、ロックバーを押しながらギアケース側のパイプを引き抜く

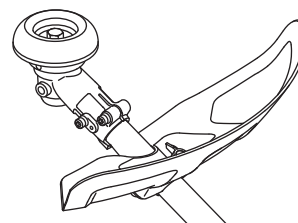


4. 刈刃（チップソー）の取り付け

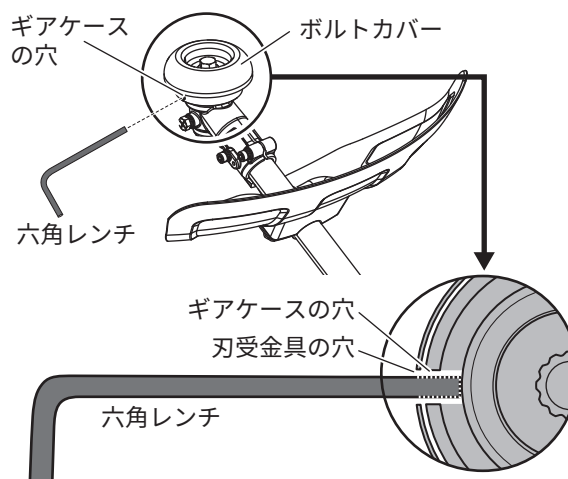
- 1) 刈刃（チップソー）に刈刃カバーを取り付ける



- 2) 刈刃（チップソー）を取り付けやすいように本機を裏返す



- 3) ギアケースの穴と、刃受金具の穴を合わせて、六角レンチをさし込み、刃受金具が回らないように固定する



ここがポイント！

- ギアケースの穴からのぞいて刃受金具の穴が見当たらない時は、ボルトカバーを回してください。刃受金具と一緒に回ることで穴が見えるようになります。

はじめに

準備

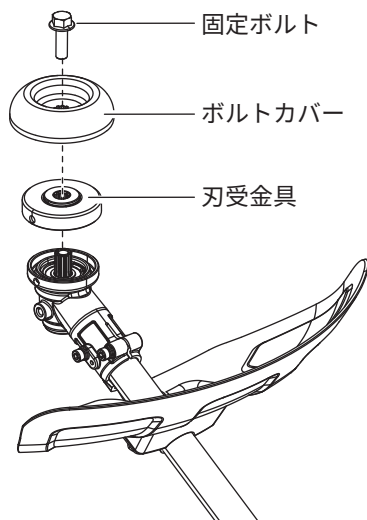
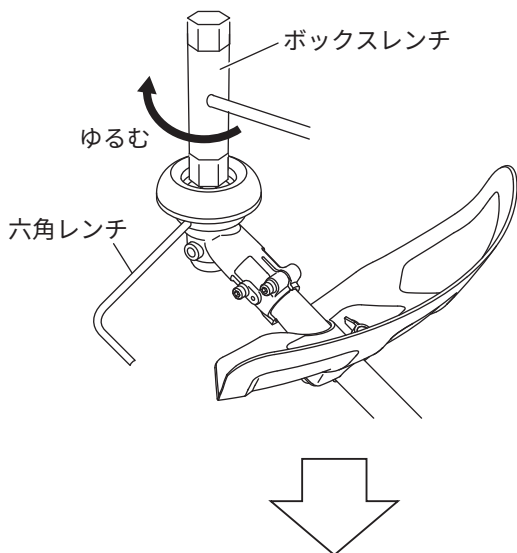
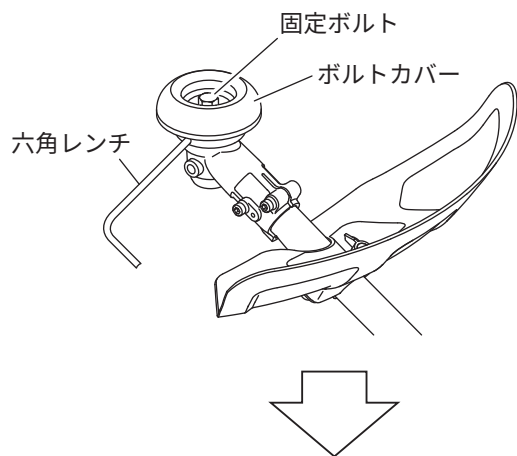
使用方法

保守・点検

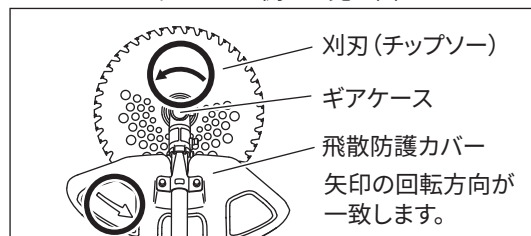
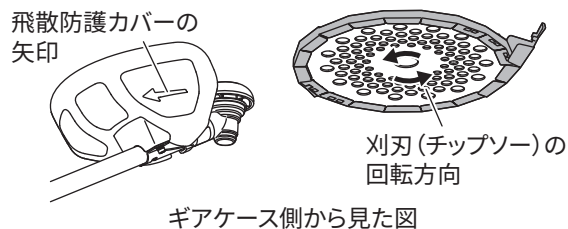
その他

組み立て

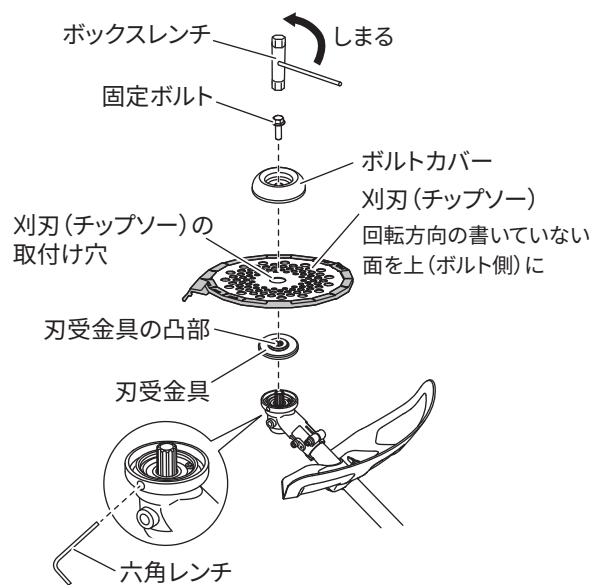
- 4) 固定ボルト（左ネジ）を付属のボックスレンチで時計回りに回して、固定ボルト、ボルトカバーを外す



- 5) 刈刃（チップソー）の回転方向と飛散防護カバーの矢印を合わせる



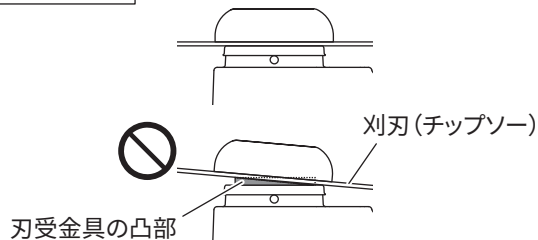
- 6) 刈刃（チップソー）の取付け穴と刃受金具の凸部を合わせて、図の順に取り付け、固定ナットを付属のボックスレンチで反時計回りに回してしっかり締め付ける



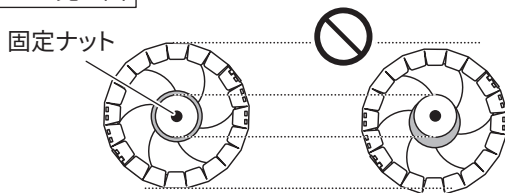
組み立て

- 7) 六角レンチを外し、刈刃（チップソー）を手で軽く回して刈刃（チップソー）の取付け穴が刃受金具の凸部からずれていないことを確認する

横から見た図



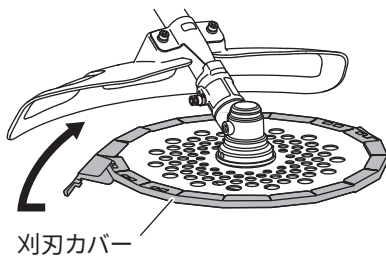
上から見た図



ここがポイント！

- ・草や土が付着した状態で締め付けしないでください。異常振動や故障の原因になります。
- ・刈刃（チップソー）が正しく取り付けいていないと異常振動し、ケガの原因になります。
- ・ずれている場合は、もう一度刈刃（チップソー）を取り付け直してください。

- 8) 草刈り作業を行うときは刈刃カバーを取り外す



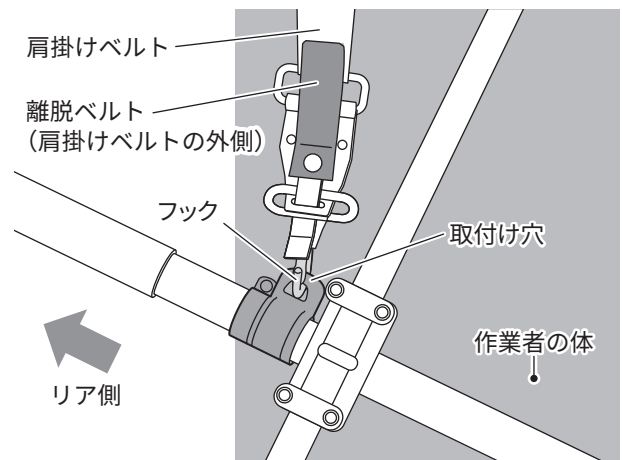
ここがポイント！

- ・刈刃（チップソー）を取り外すときは、取り付け方と逆の手順で行います。

5. 肩掛けバンドの取り付け

5.1 取り付け

- 1) 肩掛けバンドのフックを肩掛けバンド取付け具の取付け穴に通す



- 2) 軽く肩掛けバンドを引いてフックが外れたり、本機が落下しないかを確認する

はじめに

準備

使用方法

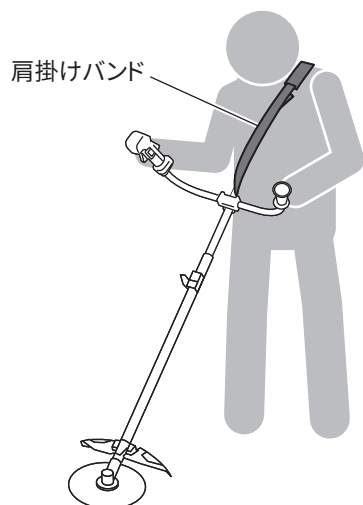
保守・点検

その他

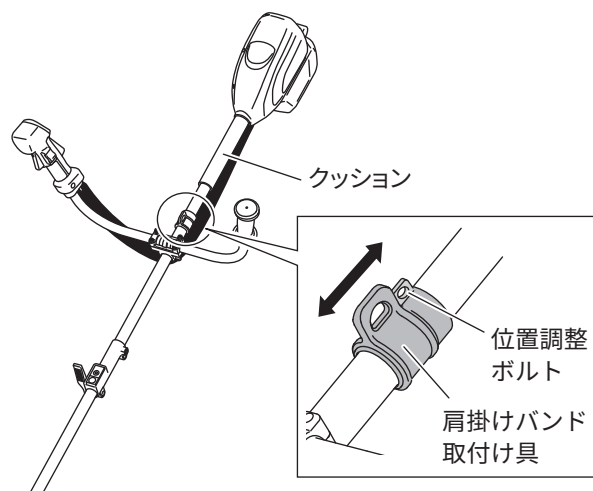
組み立て

5.2 調整

肩掛けバンドを左肩に掛けて着用し、両手でハンドルを保持してください。刈刃（チップソー）が地面から数センチの高さになるように、肩掛けバンドのストラップの長さを取り付け位置を調整してください。

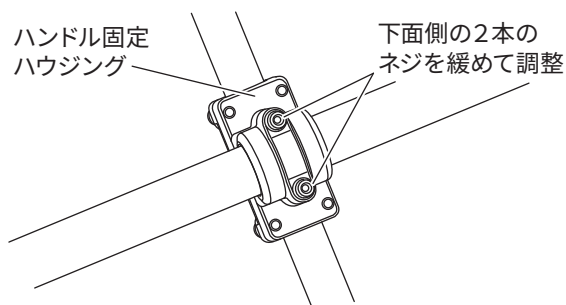


- 1) 付属の六角レンチで肩掛けバンド取付け具の位置調整ボルトをゆるめて取り付け位置を調整する



ここがポイント！

- ハンドルから手を離したときに刈刃/ギアケース側が浮き上がらないよう調整してください。ケガの原因になります。
- 刈刃（チップソー）の高さは、ハンドル固定ハウジングの位置の変更により調整することも可能です。

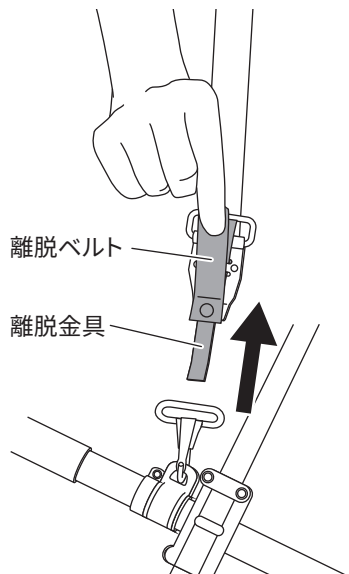


- クッションは左右にねじりながら動かすと位置調整しやすくなります。

- 2) 付け位置を調整したら位置調整ボルトをしっかりと締め付ける

5.3 離脱のしかた

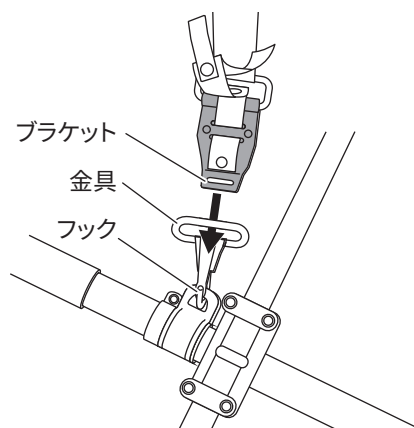
緊急時はスイッチレバーから手を離し、パイプを持ちながら離脱ベルトを持ち、図のように上に引いてください。



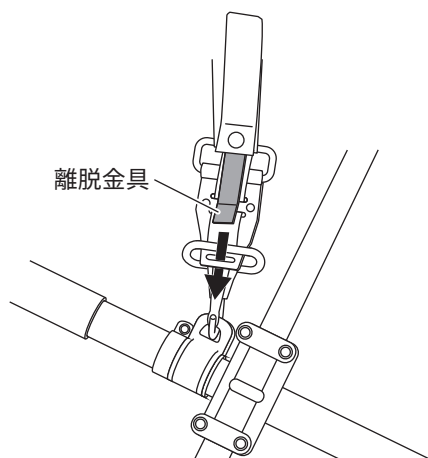
5.4 結合のしかた

離脱した後は、図のようにバンドを結合してください。

1) フックの金具部分にブラケットの先をさし込む



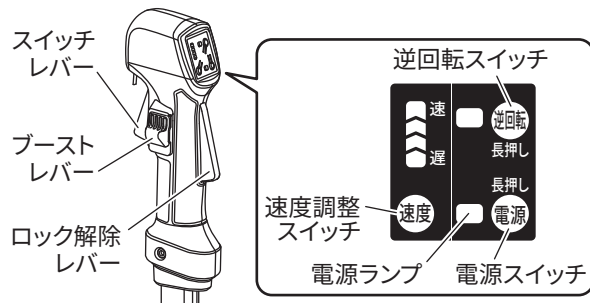
2) 離脱金具をフックの金具部分の上になるようにしてブラケットの長穴にさし込む



スイッチの操作方法

作業前に必ず4 ページ「安全上のご注意」をお読みください。

1. 操作パネルについて



〈電源ランプの見かた〉

電源ランプ	状態	対応
点 灯 □		
早い点滅		
点 滅		
消 灯 ■		
■ 消灯	電源が入っていない	電源スイッチ長押しで電源が入ります
	バッテリー残量が少ない	充電するか満充電バッテリーに交換してください (14 ページ「充電中のバッテリーの残量表示ランプの見かた」参照)
■ 緑点灯	バッテリー残量あり	使用可能
緑点滅	バッテリー残量減少	
緑早点滅	バッテリー残量が少ない	充電するか満充電バッテリーに交換してください (14 ページ「充電中のバッテリーの残量表示ランプの見かた」参照)
赤点滅	本体が過負荷になり自動停止	運転を停止し、電源スイッチを切り、バッテリーを抜いてから過負荷の原因を取り除いてください 過負荷を取り除いた後、スイッチレバーを握り直せば、赤点滅しなくなります

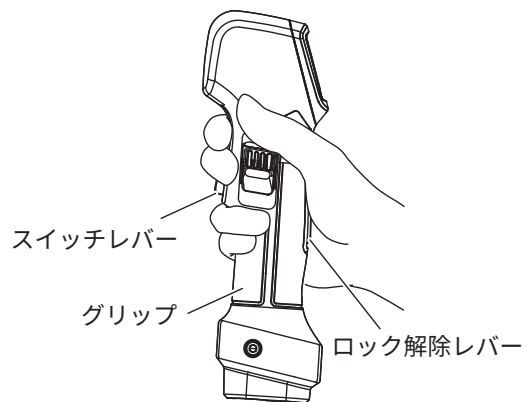
ランプが光らないまたは表以外の光り方をするときは、故障の可能性があります。本紙裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

2. 基本の操作

- 1) 電源スイッチを長押しし、電源を入れる
電源ランプが点灯します。

2.1 刈刃（チップソー）を回転させるには

- ・ロック解除レバー、グリップ、スイッチレバーを図のようにしっかり握る
刈刃（チップソー）が回転を始めます。



2.2 刈刃（チップソー）の回転を止めるには

- ・スイッチレバーから手を放す
※ スイッチレバーを放しても刈刃はすぐに止まりません。手などを近づけるときは完全に停止したことを確認してからにしてください。

2) 電源スイッチを押し、電源を切る

電源ランプが消灯します。

また、何もしない状態が約1分間続くと電源は自動的に切れます。

スイッチの操作方法

3. 刈刃（チップソー）の回転速度の設定

回転速度は4段階で設定できます。

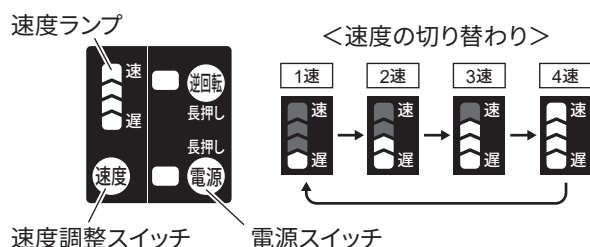
1) 電源スイッチを長押しし、電源を入れる

電源ランプが点灯します。

2) 速度調整スイッチを押す

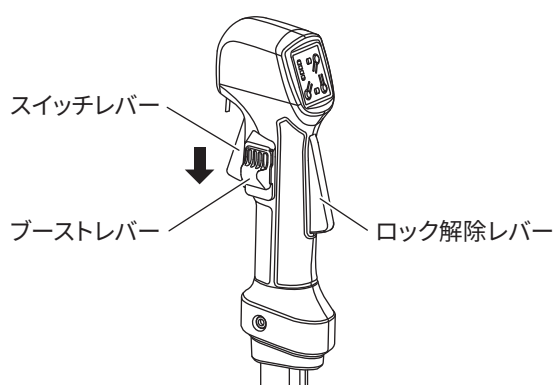
押すごとに1段階ずつ速くなり、4段階目で押すと1段階目に戻ります。

電源を切ると1段階目に戻ります。



4. ブースト機能の使用

刈刃（チップソー）の回転中、設定した回転速度に関わらず、一時的に高速回転（4速）にすることができます。



1) 電源スイッチを長押しし、電源を入れる

電源スイッチ横の電源ランプが点灯します。

2) ロック解除レバーを押した状態でスイッチレバーを握る

刈刃（チップソー）が回転を始めます。

3) ブーストレバーを下にスライドし続ける

スライドしている間だけ速度が高速回転（4速）になり、速度ランプが4段階目で点滅します。

ブーストレバーを放すと設定した速度およびランプ表示に戻ります。



5. 逆回転（絡み取り）の使用

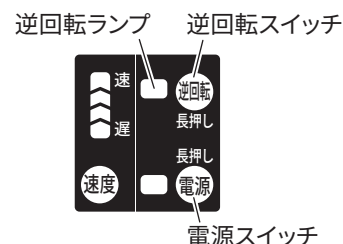
刈刃を短時間だけ逆回転（時計回り）させ、絡みついた草を取ることができます。

1) 電源スイッチを長押しし、電源を入れる

電源スイッチ横の電源ランプが点灯します。

2) 逆回転スイッチを長押しする

逆回転ランプが点灯します。



3) ロック解除レバー、グリップ、スイッチレバーをしっかりと握る

刈刃が逆回転し、約5秒で自動的に止まります。

- ・ 正回転（反時計回り）に戻すには、再度逆回転ボタンを押して逆回転ランプを消してください。
- ・ 回転の切り替えは、刈刃の回転が止まった状態で行ってください。

警告



逆回転しても刃に絡まった雑草などが取り除けない場合は、電源を切り、バッテリーを外してから、手で絡まった雑草などを取り除く

バッテリーを外さないと本機が誤始動したときにケガをするおそれがあります。

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

運搬

本機を車両などで運搬する場合には、次のことを必ず守ってください。

1) バッテリーを取り外し、バッテリーカバーを付ける

バッテリーを本機に取り付けたまま運搬すると、衝撃により破損したり、端子がショートしたりする原因となります。

2) 本機の防水カバーを閉じる

バッテリーハウジング内に異物が入らないよう、防水カバーは確実に閉じてください。

3) 刈刃（チップソー）に刈刃カバーを付ける

4) 必要に応じて、バッテリーおよび本機に衝撃を与えないよう保護する

5) 積載する場所を決める

バッテリーおよび本機、充電器が落下、転倒、破損などしないような場所を選んでください。

6) 本機を積載し、しっかりと固定する



ここがポイント！

- 本機を立てて運搬しないでください。
 - 衝撃を与えないでください。
 - 水にぬらさないでください。
 - 炎天下の車中など高温になる所、火気のそば、直射日光の当たる所に長時間放置しないでください。
 - ボルト、針金、金属工具などがバッテリー、および本機、充電器に触れないようにしてください。一緒に持ち運ぶなどするとバッテリーがショートし、発熱、破裂、発火のおそれがあります。
-

作業前点検

作業前に必ず4 ページ「安全上のご注意」をお読みください。

本機が動かない、発熱や発煙、また音や振動など異常を感じたときは、直ちに使用を中止してください。思わぬケガや事故の原因となります。電源を切りバッテリーを取り外して、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

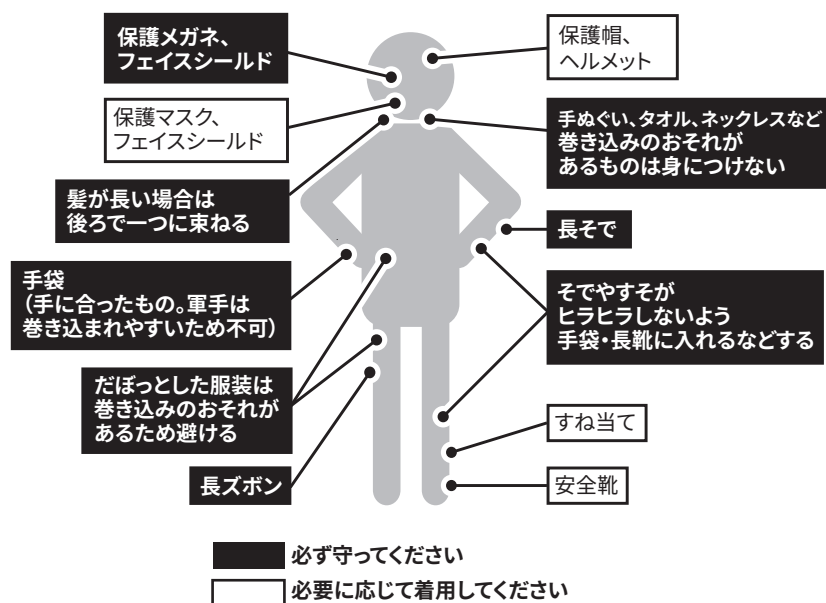
1. 作業前点検

部位	項目
各部	ネジ、ボルト類のゆるみ点検
	割れ、欠け、変形、摩耗、損傷などの点検
スイッチ類	回転設定が正回転（反時計回り）になっているか ＝「逆回転ランプ」が点灯していないか
	作動確認
刈刃（チップソー）	点検
	正しい取り付け、ボルト類のゆるみ点検

2. 服装について

作業時は飛散物が飛んできたり、本機の回転する部分に巻き込まれたりなどケガをするおそれがあります。次のような安全な服装で作業を行ってください。

※保護マスクなどは付属していません。別途ご用意ください。



草を刈る

1. 作業時の確認事項



傷をつけたくない物が近くにないか確認する

飛散した障害物でガラスが割れたり、傷がつくおそれがありますので、板などで養生するか、移動させてください。



ガラス窓
車など



足元や周囲に障害物が無いことを確認する

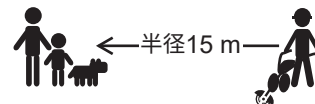
作業場所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に充分確認してください。埋設物があると本機が触れ、感電や漏電・ガス漏れのおそれがあり、事故の原因になります。

埋設物



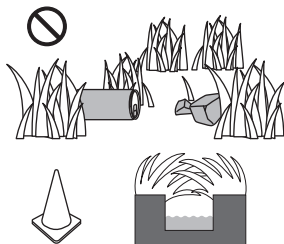
半径15 m 以内に人や動物がいないことを確認する

歩道など通路の場所を確認してください。



小石や空き缶など障害物、地面の凸凹が草に隠れていないか確認する

飛散すると危険ですので、取り除いてください。



ハチの巣やヘビが隠れていないか確認する

付近の高所や草むらの中を静かに下見をしてください。

作業音はハチに刺激を与え、ハチの出す警告音をかき消します。

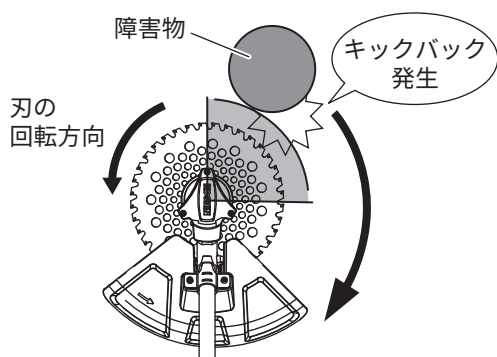


草を刈る

作業前に必ず4 ページ「安全上のご注意」をお読みください。

2. キックバック（跳ね返り）について

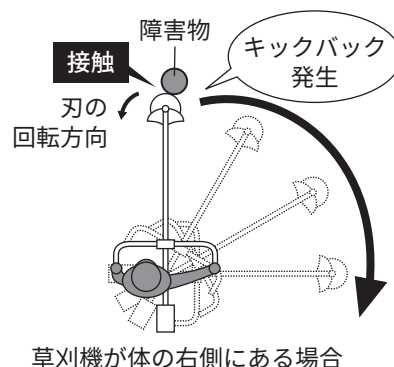
使用中に、刈刃（チップソー）の先端から右側部分が石などの障害物や硬い地面に当たると、刈刃（チップソー）の回転で障害物を駆け上がる力が働き、作業者の右側に向かって跳ね返すキックバックが発生します。



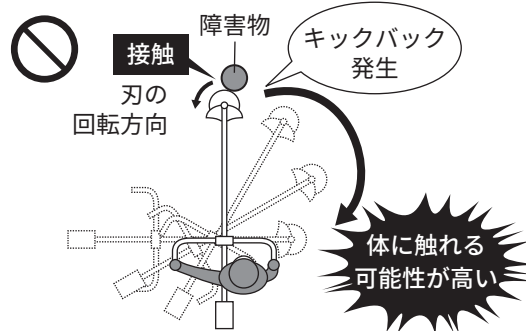
草などで隠れている小石や空き缶などに刈刃（チップソー）が当たって、キックバックを起こすことがあります。周りに障害物がないかよく確認してから作業してください。



万一キックバックが発生しても、危険性を最小限にするため、本機を身体の右側にして作業してください。作業者を中心にして、刈刃（チップソー）が回転するため、身体に直接接触する危険性が少なくなります。



草刈機が体の右側にある場合



草刈機が体の左側にある場合

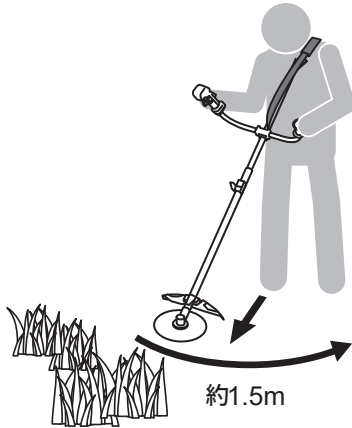
3. 草を刈る

- 肩掛けバンドを着用して本機は体の右側にし、両手でハンドルを保持し、両足は均等に体重がかかるように適当に開いてください。
- 刈刃を地面から浮かせ、草刈り作業に合った回転数にします。回転数が低すぎると草が絡みつくことがあるため、注意してください。

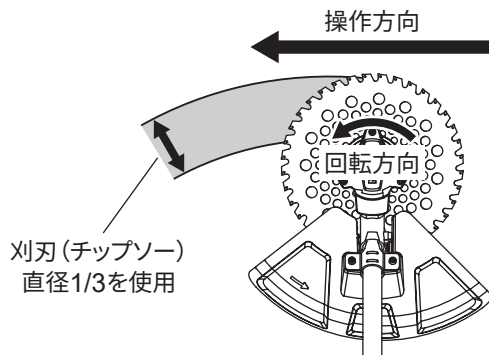


草を刈る

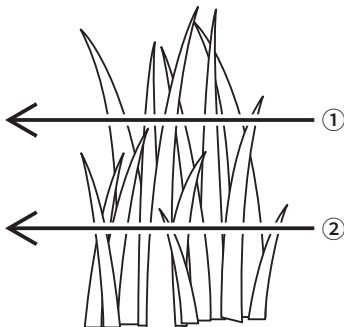
- 刈幅は1.5m程度で右から左へ、前進しながら草を刈ってください。その際刈刃（チップソー）を左側へ少し傾けると刈った草が左側に寄り、能率的に作業が行えます。



- 刈り残しをなくすため、刈刃（チップソー）の先端から1/3の範囲の草を刈ってください。

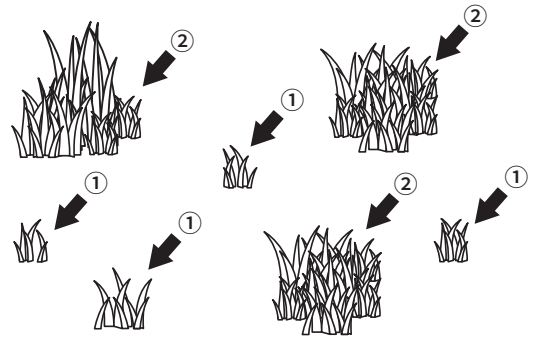


- 草が高く茂っているときは、複数回に分けて刈ってください。



■ 上手に草を刈るには

- ①のような場所は作業に問題がない範囲の低い回転数で草を刈ってください。低い回転数で作業することで、1充電あたりの運転時間が長くなります。
- ②のような低い回転数での作業で困難な場所には、一時的にブースト機能を使用してください。(25 ページ「4. ブースト機能の使用」参照)



ここがポイント！

- 地面を掘り起こしたり、地面に押し付けたり、過負荷に注意をしてください。過度な過負荷は故障の原因になります。



お手入れと保管

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

1. お手入れ

1) バッテリーを取り外す

バッテリーを本機に取り付けたまま行くと、事故の原因になります。

2) 防水カバーを閉じる

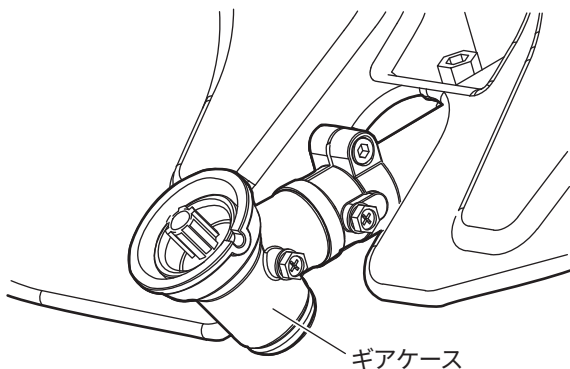
バッテリーハウジング内に異物が入らないよう、確実に閉めてください。

3) 清掃する

- 各部に付いた雑草やゴミを取り除いてください。
- 次の場所は特にきれいに清掃してください。本機の故障を防ぎます。

■ ギアケース

(周囲および刃受金具を外した所)



ここがポイント！

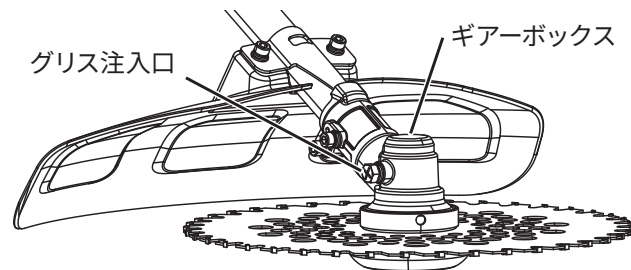
- 清掃をするときは乾いた布か石けん水で湿らせた布できれいに拭いてください。
- 水をかけて洗わないでください。故障の原因になります。
- ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。変色、変形、ひび割れの原因になります。

4) バッテリーを充電する

バッテリーの劣化を防ぎます。充電後は充電器から取り外し、バッテリーカバーを付けて保管してください。

2. グリス補給(運転25時間ごと)

用意するもの リチウム系万能グリス2号



1) ギアボックス周囲にこびりついた草などをきれいに掃除する

ギアボックス内部への異物の混入を防ぎます。

2) グリス注入口のボルトを外してグリスを注入する

穴からグリスが少し出るまで注入してください。

3) 出てきたグリスを拭き取り、元通りにボルトを締め付ける

3. 保管

1) 「お手入れ」をすべて行う

(前項「お手入れ」参照)

2) 本機、バッテリー、充電器は次のような場所に保管する

- 室内で換気が良い
- 湿気やほこりが少ない
- 湿度や温度が急変しない
- 直射日光が当たらない
- 水、塩分、火気、可燃性ガス、揮発・腐食性物質、金属粉がない
- 子ども、ペットが触れない
- 熱源のそばや、真夏の締め切った自動車内など高温になる所は避ける



ここがポイント！

- 本機を立てかけて保管しないでください。転倒し破損の原因となります。

4. 長期保管のときは

バッテリー保護のため、バッテリーを充電してから保管してください。また、その後も1年に1回は充電してください。

「故障かな？」と思ったら（故障と処置）

お客様で分解・修理は絶対にしないでください。

点検・修理は本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

■ 本機

症状	考えられる原因	処置	参照ページ
本機が動かない	スイッチレバーがONになっていない	スイッチレバーをカチッと音がするまで握る	24
	スイッチレバーがONにならない	ロック解除レバーを押しながら操作する	24
	部品（モーター、スイッチなど）が故障している	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へ点検をご依頼ください	—
	バッテリーの残量が少なくなっている	充電を行う	14
草刈時に停止する	回転部、飛散防護カバーなどに異物が挟まっている	刃を逆回転させ、雑草などを取り除くか、異物が挟まっていないか点検・確認し、異物を取り除く（点検は必ず電源を切り、バッテリーを抜いた状態で行う）	25
	切断対象が硬すぎるなどして過負荷がかかっている	負荷を減らす	30
	本機またはバッテリーの温度が高い（使用状況、または炎天下の自動車内に保管したことなどによる）	本機およびバッテリーを風通しの良い日陰に置くなどして冷ます（水にぬらさない）	13
	バッテリーの容量が少なくなっている	充電を行う	14
本機から異音／異常振動がしている	回転部、飛散防護カバーなどに異物が挟まっている	刃を逆回転させ雑草などを取り除くか、異物が挟まっていないか点検・確認し、異物を取り除く（点検は必ず電源を切り、バッテリーを抜いた状態で行う）	25
	刈刃（チップソー）が正しく取り付けられていない	正しく取り付ける	19
	ハンドル、ハンドル固定ハウジング、その他締付け部のゆるみ	増し締めする	17
	刈刃（チップソー）の曲がり、破損	新しい刈刃（チップソー）に交換する	19
	モーターが焼けている	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へ点検をご依頼ください	—

「故障かな？」と思ったら（故障と処置）

■ バッテリー、充電器

症状	考えられる原因	処置	参照ページ
満充電してもバッテリー残量がいつもより早くなる	想定を上回る硬さの切断対象、または回転速度設定が適切でない	本機的能力に見合った対象に適切な回転速度設定で使用する	30
	バッテリーの温度が高い (本機での使用直後や、車のダッシュボードなど温度の高い場所においていたなど)	本機またはバッテリーを風通しの良い日陰などに置き冷ます（水にぬらさない）	13
	気温が低く、バッテリーの温度が低すぎる	バッテリーを使用環境温度が5～40℃の室内にしばらく放置する (推奨：10～30℃)	13
	充放電を繰り返し、バッテリーが劣化した	新しいバッテリーに交換する (バッテリーの寿命)	13
充電に時間がかかる	バッテリーの温度が高い (本機での使用直後や、車のダッシュボードなど温度の高い場所においていたなど)	充電器またはバッテリーを風通しの良い日陰などに置き冷ます（水にぬらさない）	13
	バッテリーの温度が低い	バッテリー温度が低いと充電しにくいことがあるため、充電は使用環境温度が5～40℃の範囲で行う (推奨：10～30℃)	13
	バッテリー残量がとても少ない	そのまま充電を続ける	—
充電ができない： 充電器のランプが、 緑点灯から赤点灯に 切り替わらない	本機またはバッテリーの温度が高い (使用状況、または炎天下の自動車内に保管したことなどによる)	本機またはバッテリーを風通しの良い日陰などに置き冷ます（水にぬらさない）	13
	バッテリーが充電器の奥までしっかりさし込まれていない	奥までしっかりさし込む	14
充電ができない： 充電器のランプが 消灯のまま	充電器の電源プラグが奥までしっかりさし込まれていない	奥までしっかりさし込む	
	※ バッテリーまたは充電器が破損している	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へ点検をご依頼ください	—

※ 破損の原因になる例

炎天下の自動車内など、著しい高温または低温にさらした／金属などが端子にふれた／水または火、揮発性の物質などにふれた／落下による衝撃／液もれなど。

仕様

1. 主な仕様

機種名		PBC-400R
製品名		充電式草刈機
用途		雑草の草刈り
草刈機	タイプ	肩掛け式
	ハンドル	U字
	シャフトタイプ	分割式
	回転数（無負荷）	3,000～6,000 rpm
	運転時間（満充電・無負荷）	75～25 分（1～4速）
	連続運転時間	-
刈刃	使用刃物	チップソー
	刈込幅	φ255 mm x 40P（刃数）
	刃物回転方向	反時計回り（使用者から見て）
モーター	カーボンブラシ交換	-（不要：ブラシレスモーター）
保護・安全装置	自動電源オン・オフ機能	自動電源オフ：1分
	保護機能	過電流保護、温度保護
使用環境温度		5～40 °C
製品寸法：全長(L)×全幅(W)×全高(H)		1,830 x 660 x 470 mm
分割寸法：全長(L)×全幅(W)×全高(H)	リア側	990 x 660 x 420 mm
	フロント側	900 x 350 x 230 mm
製品重量		5.5 kg ※2
バッテリー	機種名	KLB-4040
	名称	40Vバッテリー
	タイプ	リチウムイオンバッテリー
	公称電圧	DC 36 V
	定格容量	4.0 Ah (144 Wh)
	充電時間	約80 分 ※3
	USB出力電圧	DC 5 V
	USB出力電流	DC 2.0 A
	USB出力端子	USB Type-A x 1
充電器	機種名	KBC-400
	名称	40V充電器
	定格電圧	AC 100 V ※4
	定格周波数	50-60 Hz
	定格入力容量	210 W
	定格出力電圧	DC 40 V
	定格2次電流	DC 4.0 A
	使用環境温度	5～40 °C

特徴：リアモーター、ブースト機能、逆回転（絡み取り）機能、防塵・防水機能（IPX4）

※1：1充電あたり。また、気温や切断対象などの状態により異なります。

※2：バッテリー含む。刈刃、飛散防護カバー、肩掛けバンドは含まず。

※3：気温やバッテリーの充電残量などにより異なります。特に長期保管後は長くなることがあります。

※4：昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機では使用したりしないでください。

発熱・火災のおそれがあります。

パーツのご注文は

パーツは、必ず指定のものをご使用ください。

パーツは購入店または弊社製品取扱店を通じてご注文いただけます。

また、弊社ウェブサイトにてパーツ表、価格をご覧ください。

1. ご注文時のお願い

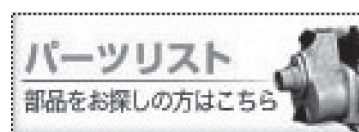
部品番号（7～9桁）または機種名・JAN、名称、必要な個数を正しくお伝えください。

2. パーツ表・価格

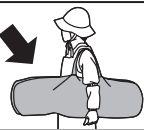
1) <https://www.koshin-ltd.co.jp>へ
アクセス



2) トップページ「パーツリスト」バナー
をクリック



3. 主なパーツ

名称		機種名・JAN	備考
交換用 刈刃	さし込み式ナイロンカッター	機種名：PA-529 JAN：4971770 - 562073	刈り込み幅：370mm 
	φ255刈刃（チップソー）	機種名：PA-439 JAN：4971770 - 561076	本機の標準付属品と同じものです。 φ255 × 40P
	φ230刈刃（チップソー）	機種名：PA-386 JAN：4971770 - 560208	別機種の標準付属品で、本機にも使用可能な ものです。φ230 × 36P
	φ230刈刃（チップソー）	機種名：PA-527 JAN：4971770 - 561922	φ230 × 28P
固定ボルト		機種名：PA-390 JAN：4971770 - 560246	
ボルトカバー		機種名：PA-539 JAN：4971770-000766	
刈刃カバー		機種名：PA-391 JAN：4971770 - 560253	
40Vバッテリー（4.0 Ah）		機種名：KLB-4040 JAN：4971770-800021	バッテリー、バッテリーカバーを含む。 専用充電器：KBC-400
40V充電器		機種名：KBC-400 JAN：4971770-800045	充電器本体および電源コード。
キャリーバッグ		機種名：PA-402 JAN：4971770-560345	当社製草刈機の運搬以外には 使用しないでください 

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

保証書

レシート(販売証明書)と
共に保管してください

この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて、下記記載内容で無償修理をお約束するものです。なお、本書によってお客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本記載内容に基づき無償修理いたします。製品と本書、レシート(販売証明書)をご準備のうえ「工進修理受付窓口」へご相談ください。

機 種	PBC-400R 充電式草刈機		※お買い上げ日		年	月	日					
保 証 期 間	お買い上げ日より1年間		本									
お 客 様	※お名前							※ 購 入 店	住所			
	※ご住所	〒 電話 ()							店名	電話 ()		

<保証契約約款>

※に記入のない場合は無効になりますので必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - 〈イ〉不適切な使用、改造、取扱説明書に記載されている保守・点検以外の分解や修理、弊社指定の純正パーツ以外を使用したことによる故障または損傷、日常点検やお手入れ、整備を怠ったことにより生じた不具合。
 - 〈ロ〉お買い上げ後の落下、運送等による故障または損傷。
 - 〈ハ〉火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、公害、指定外の使用(電圧、周波数、使用液、使用燃料など)や、使用環境要因による故障または損傷。
- 保証期間内でも次の場合は補償いたしかねます。
 - 〈イ〉機能上影響のない感覚的現象(音、振動、操作感など)や使用損耗および部品寿命による不具合。
 - 〈ロ〉製品の不具合や使用によって生じた直接ならびに間接の損害。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 出張修理は対応いたしかねます(弊社指定製品を除く)。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。海外での購入ならびに使用については一切責任を負いません。
This warranty is valid only in Japan, also not covered for overseas purchase and use.
- 弊社の判断により、修理に代えて同機種との交換、または同等性能を有する他機種への交換となる場合があります。

株式会社 **工進** 京都府長岡京市神足上八ノ坪12

レシート(販売証明書)貼付位置

お問い合わせ

【個人情報のお取り扱いについて】お客様の個人情報保護方針は、弊社ウェブサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

お問い合わせの際は、

- 型式(下図参照)、
- お買い上げ年月日、
- 故障状況 など

をお知らせください。

※本体または梱包箱に貼付しています。
一部ラベルのない製品もございます。



■ 製品・パーツの販売についてのお問い合わせは

購入店またはお近くの弊社製品お取扱店にご相談ください。

■ 製品の修理に関するお問い合わせは……「工進修理受付窓口」へ

電話 **0120-987-386** (通話料 無料) 平日: 9:00~17:00
会社休業日・土日祝祭日を除く。受付時間に変更がある場合は、弊社ウェブサイトにてご案内します。

ダイレクト修理 ※北海道・沖縄を除く

- | | | | | |
|---------------|------------------------|----------|-----------|----------------------|
| | | | | |
| ①お電話またはメールで連絡 | ②修理品をお預け(宅配業者が取りに伺います) | ③センターで修理 | ④ご自宅までお届け | ⑤お支払いはクレジットカードまたは代引き |

■ 製品に関するお問い合わせは……「お客様相談窓口」へ

Q&A Eメール お客様サポートページ

電話 **0120-075-540** (通話料 無料) キョウトのコーシン
平日: 9:00~17:00
会社休業日・土日祝祭日を除く。受付時間に変更がある場合は、弊社ウェブサイトにてご案内します。

株式会社 **工進**



〒617-8511
京都府長岡京市神足上八ノ坪12
<https://www.koshin-ltd.co.jp>